

こどもの居場所について

令和 6 年 11 月 29 日 総合教育会議

1 こどもの居場所づくりに関する指針（こども家庭庁 令和 5 年 12 月 22 日）

(1) 背景

ア 地域コミュニティの変化

地域のつながりの希薄化、少子化の進展により、地域の中でこどもが育つことが困難になっている。

イ 複雑かつ複合化した喫緊の課題

児童虐待の相談対応件数や不登校、自殺者数の増加など、こどもを取り巻く環境の厳しさが増している。

ウ 価値観の多様化

価値観の多様化やそれを受け入れる文化の広がりに伴い、居場所への多様なニーズが生まれている。

(2) 理念

全てのこどもが、安全で安心して過ごせる多くの居場所を持ちながら、様々な学びや社会で生き抜く力を得るための糧となる多様な体験活動や外遊びの機会に接することができ、自己肯定感や自己有用感を高め、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で成長し、こどもが本来持っている主体性や創造力を十分に発揮して社会で活躍していけるよう、「こどもまんなか」の居場所づくりを実現する。

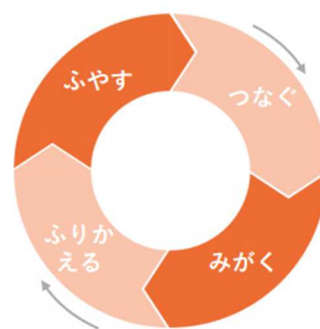
(3) こどもの居場所・居場所づくり

『居場所』とは、こども・若者本人が決めるもので、多様な形態を取り得るが、『居場所づくり』は第三者が中心となって行うものであるため、両者には隔たりが生じ得る。

こうした隔たりを乗り越えるため、こども・若者の視点に立ち、こども・若者の声を聴きながら『居場所づくり』を進める必要がある。

(4) こどもの居場所づくりにおける 4 つの基本的な視点

- ・「ふやす」：多様なこどもの居場所がつくられる
- ・「つなぐ」：こどもが居場所につながる
- ・「みがく」：こどもにとって、より良い居場所となる
- ・「ふりかえる」：こどもの居場所づくりを検証する



(5) この指針の性質

ア 対象となる居場所の範囲

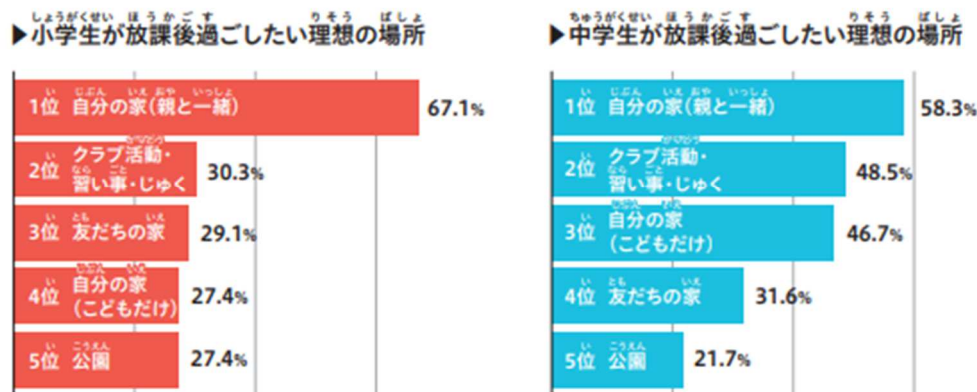
こどもの居場所となることを目的としてつくられた場や活動はもちろん、結果としてこども・若者の居場所になっているもの（例：学校や塾、習い事など）も含まれる。

イ 対象となるこども・若者の年齢の範囲

こどもであっても若者であっても、居場所を必要とすることについては同様であるが、その必要性の強弱や提供される機能の違いを踏まえ、本指針では心身の発達の過程にある「こども」を対象とする居場所づくりを中心とする。

2 居場所に関するこどもたちの声（令和6年実施：市こども計画策定に係るアンケート調査）

（1）放課後に過ごしたい理想の場所（小学5年生・中学2年生）



（2）自由意見抜粋

ア 小学5年生

- ・子ども達だけで自由に楽しく室内で遊べる公共施設がほしい
- ・ボールが安全に使える公園があればいいと思う
- ・児童館を増やしてほしい
- ・子ども図書館が身近にほしい
- ・公園でマナーがなっていない人を注意してほしい

イ 中学2年生

- ・自習室が増えてほしい
- ・全ての図書館に小中学生がゆっくりできるカフェスペースを作してほしい
- ・公園で遊んでいると苦情を言われるから遊びにくい
- ・コート（バレー・バスケット・テニス）を増やしてほしい
- ・こどもが人に言えないような相談ができる場所を増やしてほしい

3 各施設・事業の状況等

（1）HOTけんステーション

福祉・ひきこもり支援の総合相談窓口として、様々な生活課題が複雑化・複合化し、どこに相談したらよいかわからない方の相談に応じている。

相談内容を踏まえ、各関係機関の役割分担などの総合調整を図る支援者支援の機能を持たせるとともに、CSW（コミュニティソーシャルワーカー※）等と連携した地域資源の開発（地域づくり事業）にも取り組んでいる。

※CSW…地域生活課題を抱えている人の個別支援を行いつつ、地域福祉の視点から、支援のネットワーク化を図るなどの地域支援を行う福祉の専門職であり、本市には地域担当CSWとして、10か所の日常生活圏域に1名ずつ配置している。

（2）多世代交流をメインとした居場所（※市またはCSWが把握・関与している取組みを記載）

一緒に遊ぼう西条キッズ、HUGHUG（はぐはぐ）、つむつむ隊、ほったらかしや、安芸国分寺みんクロ、みんなで過ごそう正覚寺、ふれあいカフェ戸野、憩いの場小谷、親子で遊ぼう in 龍王、

下見あったか交流会、平岩つながり広場、こすもす広場、平成会による学習支援

※（２）のうち大学生等による学習支援も実施している場

つむつむ隊、HUGHUG、平成会による学習支援

（３）みんなプラス☆コミュプラ（コミュプラ）

コミュプラは、小・中学校の時に不登校経験がある、高校生と大学生のグループであり、同じ体験を持つ仲間が集まり、おしゃべりや体験を通して、参加者みんながプラスになっていくことを目指している。

現在、８名のこども（いずれも女性）が継続的に集まっている。詳細は資料２を参照。

（４）地域（こども）食堂（２２か所）

詳細は資料３を参照。

（５）学校

不登校生徒等の登校支援や、教室での学習、生活が困難な状況にある生徒等の学びの場（ＳＳＲ）を利用している児童及び生徒数は次のとおり。

	児童・生徒数 ※R6. 5. 1	不登校 ※R5. 10. 31	スペシャル サポートルーム (SSR) ※R5. 10. 31	スクールエス (SCHOOL “S”) ※R6. 9. 30
小学校	10,987 人	132 人	54 人	33 人
中学校	4,923 人	249 人	64 人	41 人

（６）フレンドスペース

不登校等児童生徒の社会的自立を目指し、学校・家庭等と協力して支援を行うために設置。

場 所	利用 者		開室日
西条フレンドスペース (サンスクエア東広島 3 階)	児童数	4 人	月～金曜日 9:30～15:00 水曜日 9:30～12:00 (豊栄は月・水・金)
	生徒数	7 人	
黒瀬フレンドスペース (黒瀬生涯学習センター1 階)	児童数	0 人	
	生徒数	5 人	
豊栄フレンドスペース (豊栄支所 2 階)	児童数	0 人	
	生徒数	1 人	

（７）フリースクール

通常の学校教育に馴染めない子ども達や、さまざまな理由で学校に行けない子ども達を支援するための施設。「フリースクールあいびい」を利用している児童・生徒数は次のとおり。

児童数	5 人
生徒数	60 人

 ※R6. 8. 29

（８）いきいきこどもクラブ（放課後児童健全育成事業）

保護者の就労等により、放課後家庭で保護者と過ごすことができない児童に、集団生活を通じた適切な遊び及び生活の場を提供する事業

	公設	民間	合計
児童数	2,578 人	693 人	3,271 人
クラブ数	60 クラブ	24 クラブ	84 クラブ

 ※R6. 5. 1

（９）放課後子供教室

放課後や週末等において、保護者の就労等の状況に関わらず、児童の安全・安心な活動場所を確

保し、地域と学校が連携・協働して学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する事業

登録児童数	673 人	※R6. 10. 31
-------	-------	-------------

(10) 児童青少年センター

児童青少年の健全な育成と福祉を増進することを目的として、児童青少年が気軽に利用できる「心の居場所」となる場を設置している。

ア 児童青少年センター（西条）

- ・コミック本を読んだり、オセロや将棋などのゲームでの友達作り
- ・学習、自習
- ・親子で遊ぶ（乳幼児）
- ・教育相談、カウンセラー相談、子育て相談

利用者数	31,601 人※	開館時間	10:30～20:00	休館日	月曜日、祝日、年末年始
------	-----------	------	-------------	-----	-------------

※R5 年度

イ 第2児童青少年センター（高屋）

- ・コミック本を読む
- ・学習、自習

利用者数	2,413 人※	開館時間	15:00～21:00	休館日	日・月曜日、祝日、年末年始
------	----------	------	-------------	-----	---------------

※R5 年度

(11) 市内公園の状況

	西条	八本松	志和	高屋	黒瀬	河内	安芸津	計	総面積
都市公園 (街区公園)	165 箇所	90 箇所	10 箇所	82 箇所	36 箇所	12 箇所	9 箇所	404 箇所	33.5ha

※R6. 3. 31

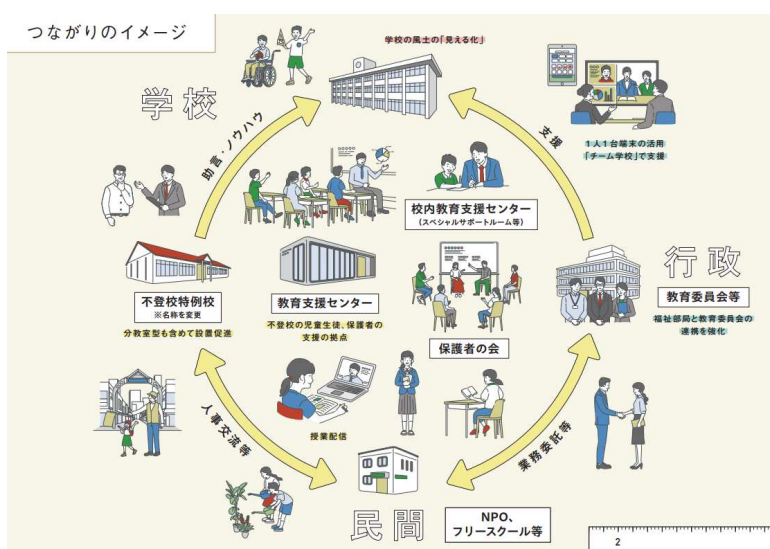
※街区公園は、旧児童公園であり誘致距離は 250m である。

4 文部科学省のつながりのイメージ（COCOLOプラン 令和5年3月）

行政、学校、地域社会、各ご家庭、NPO、フリースクール関係者等が、相互に理解や連携をしながら、子供たちのためにそれぞれの持ち場で取組を進めることが必要。

支援が必要な子供たちが学びにつながれるようにすることと、全ての学校を誰もが安心して学べる場に変えることを、速やかに実行。

必要な支援は子供たち一人一人の状況によって異なるため、連携して、一人一人に応じた多様な支援を行う。



みんなプラス☆コミュプラ

参加者募集！

「コミュプラ」は、小・中学校の時に不登校経験がある、高校生と大学生のグループです。同じ体験をもつみんなと、月1回集まり、「こんなことしてみたいな」「こんな自分になりたいな」と話し合ってみたり、みんなが笑顔になっていく「スマイルプロジェクト」の企画を考えてみたりしています。

この活動に興味のある方はぜひご連絡ください😊

🌞開催日 毎月1回（原則毎月第3木曜日 16:00～18:00）

📍会場 所 西条町内

💰参加費 無料

👥対象者 小・中学校の時に不登校経験がある概ね15～18歳（東広島市在住）

📄申込み 参加する際は、裏面「みんなプラス☆コミュプラ参加申込書」を提出してください。

✉️問合せ 関心のある方はまずはお問合せください。メールでも電話でもOKです。

メールは①「コミュプラ」情報希望 or 見学希望 ②お名前（フルネーム）③住所
④連絡先を記載してください。

🏠主催者 東広島市役所（地域共生推進課）

【申込み・問い合わせ先】 東広島市健康福祉部地域共生推進課

TEL 082-493-5621

メールアドレス hgh200932@city.higashihiroshima.lg.jp



「コミュプラ」ってこんなところ

おしゃべりや体験を通して、自分やみんなの良いところが見つかって、1人1人が何か自分にとってプラスになるものを得ていこうという活動です。（「コミュニケーション」＋「プラス」）自然と笑顔がこぼれるような、そんな場所を目指しています。

活動のメニューはみんなの声から生まれていて、「スマイルプロジェクト」はメンバーの「こんな事がしたい」を実現しようとするプロジェクトです。

イベント「ミニ展示会とワークショップ」はメンバーがアイデアを出し合い企画し、実現までつなげました。コミュプラをどんなふうにするかはあなた次第。どんな自分に出会えるか、未来の自分を、お楽しみに。

参加動機はなんでも OK

「のんびり ほっとできる場が欲しい」
「話したいことを話せたらいいな」
「コミュニケーションの練習をしたい」
「自分のやりたいことを企画してみたい」
などなど

2023 年度の活動

- ・カードゲームで仲良くなろう♪
- ・すごろく自己紹介
- ・意見交換「お互いに聞いてみたいこと」
- ・デザインについてプロから学ぼう
- ・スマイルプロジェクト「ミニ展示会とワークショップ」の企画実施

みんなプラス☆コミュプラ参加申込書

申诉日 年 月 日

●申込者（保護者）			
住所			
フリガナ 氏 名		参加者との 関係	
電話番号	() -		
●参加者			
住所			
フリガナ 氏 名		生年月日	年 月 日
呼ばれたいニック ネーム（あれば）			
●緊急時連絡先 ☐ 申込者に同じ			
フリガナ 氏 名			
参加者との関係		電話番号	() -
●配慮を必要とすることがあれば記入してください。			

○ご提出いただいた個人情報、本事業においてのみ使用いたします。

○緊急時連絡先は、活動中における体調不良等の際に連絡のつく番号を記載してください。

みんなの居場所 こども食堂・地域食堂マップ

資料3

2024年6月現在

① <西条町土与丸> ∞ KODOMO食堂∞

お弁当配布を長年していましたが、2024年6月から会場で食事形式になります！親子連れでワイワイと賑やかに楽しめる雰囲気です。

② <西条町寺家> てらにしふれあい食堂

寺西小学校の低学年～中学年と親御さんが多く、地域のシニアも参加されています。レクリエーションでは世代を超えてにぎわった雰囲気を楽しんで頂いています。

③ <西条町田口> SATO★ まきばのばんごはん

お弁当配布という形で、地域の方とのつながりを大切に活動しています。

④ <西条町田口> こども食堂 MOGUMOGU

みんなでつながり、みんなで食べる場・みんなが集まる場をコンセプトとした参加型のこども食堂です。ボランティアさんも大歓迎です。

⑤ <西条町御菌宇> 子ども食堂 コジエ

地域の方と工作をしたり、学生ボランティアと遊んだり世代を超えた交流が出来ます。あるもので作る品数も盛りだくさんの食事を楽しんでもらっています。

⑥ <西条町下三永> おひさま食堂

子どもからお年寄りまで地域の方の食を通じたつながりの場になっています。ボランティアさんも大歓迎です。

⑦ <西条町寺家> 平岩ふれあい食堂

家族でもひとりでも楽しくみんなで食事ができる雰囲気です。開催日によっては、お楽しみワークがあり、世代を超えた交流もできます。

⑧ <八本松東> SATO★はちほんまつ こども食堂

多様な年齢・性別・国の方々が交流しています。集まって、おしゃべりして共感・共有する事によって安心の笑顔があります。交流も食事もこころとからだの栄養になっています。

⑨ <八本松町正力> MM子ども食堂

みんなみんなおいで！という思いを込めて名付けられています。子どもから大人までだれでも参加できます。多くの人に参加してもらい笑顔になってもらいたいです。

⑩ <八本松町正力> あるもんで食堂

スタッフも仲良しで、みんな和気あいあいとした雰囲気で行っています。

⑪ <志和町志和東> 志和地域食堂あずまや

アットホームで実家に帰ったような雰囲気です。季節ごとのイベントも企画されています。

⑫ <高屋高美が丘> 高美が丘こども塾 「竹の子」

学生・地域ボランティアさんによる学習支援、ボランティアさんと子どもたちがアットホームな雰囲気です。

⑬ <高屋町高屋堀> 真ちゃん食堂

乳幼児の親子から高齢者まで様々な世代が参加。不定期で工作等のイベントも開催されています。みんなの居場所 弱音をはいても良い場所

⑭ <高屋町杵原下> 子ども食堂「結」

未就学児から小・中学生の親子の参加が多いです。毎回、楽しいイベントがあります。小・中学・地域の方は1人での参加も可能です。

⑮ <高屋町白市> きらきら食堂

有機農家さんの食材とスタッフ手作りの調味料を使った愛あふれる食堂です。世代問わず地域の方が参加されています。

⑯ <高屋町小谷> こころ食堂

私たちは、世代を問わず、食事を通じて地域の誰もが安心して過ごせる居場所づくりをすすめています。是非、お気軽にご参加ください。

⑰ <黒瀬町大多田> SATO★くろせ こども食堂

幼児から大学生を中心に参加し、宿題をして、ボランティアさん手作りの食事をみんなで食べます。大学生のお兄さんお姉さんが一緒に遊んで下さっています。

⑱ <黒瀬町檜原東> SATO★くろせ 地域食堂

子どもたちの学習支援と地域の皆さんの食を通じた交流を目的としています。温かい食事を用意して皆さんのお越しをお待ちしています。

⑲ <福富町久芳> SATO★ふくとみ

食事はオーガニックの食材を使い、素材本来の味を大切にしています。食事の他に愛着形成を目的にミュージック・ケアも実施しています。お気軽にお越しください。

⑳ <豊栄町乃美> ふるさとカフェ キッズ

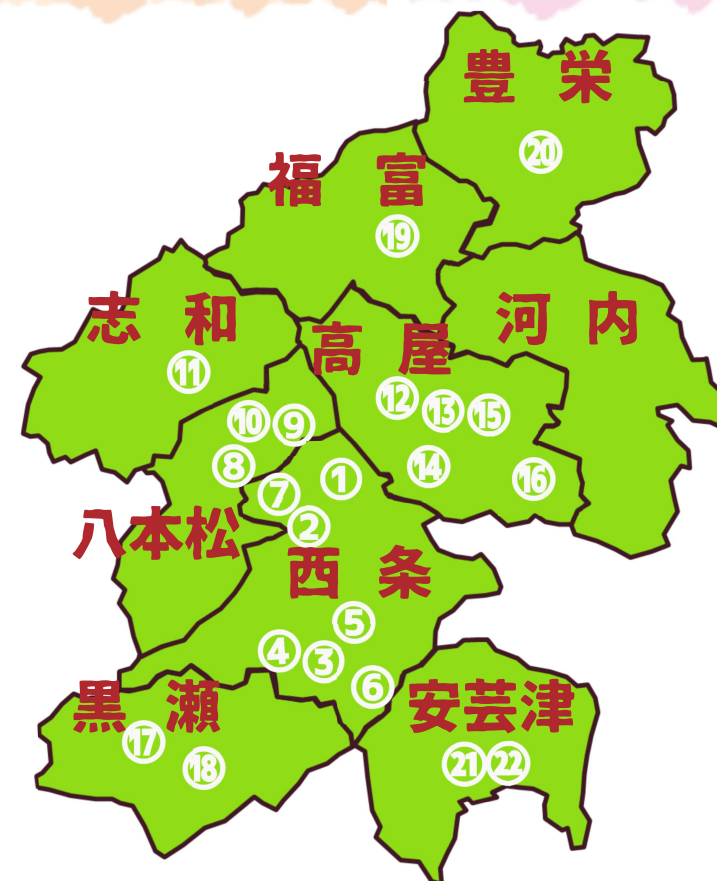
参加者もスタッフも、みんなが一緒に和やかに雰囲気の中で過ごすことができるアットホームな居場所です。

㉑ <安芸津町風早> ハーモニ

地域の誰もが参加でき、子どもたちの賑わいもある、栄養満点でおなかも心も満たされる楽しい雰囲気です。ボランティアさんも募集中です！

㉒ <安芸津町風早> 風早薬局子ども食堂

薬剤師さんとボランティアさんが中心に企画しています。ゆっくりと、ほっと一息つきながら交流できるような雰囲気です。



発行元 東広島市社会福祉協議会

みんなの居場所 こども食堂・地域食堂

2024年6月現在

①∞ KODOMO食堂∞

開催日 月1回(不定期)
場所 東広島市総合福祉センター
(西条町土与丸1108)
対象者 誰でも可
利用料 200円/食
※要予約 駐車場あります
申込み 公式LINEから予約
または地域福祉課まで



②てらにしふれあい食堂

開催日 3か月に1回程度
場所 寺西地域センター
(西条町寺家3166-1)
対象者 誰でも可
利用料 無料
※要予約 駐車場あります
申込み 080-4557-2576 (坂本)

③SATO★まきばの ばんごはん

開催日 第2金曜日(夕方)
場所 緑の牧場キリスト教会
(西条町田口2799)
対象者 誰でも可 50食限定
利用料 小学生以下100円/食
中学生以上200円/食
※要予約 駐車場あります
申込み 090-3631-5795 (酒井)

④こども食堂MOGUMOGU

開催日 2か月/1回 第3金曜日
場所 BOSCO VILLAGE
(西条町田口181)
対象者 定員30名
利用料 300円/食
※要予約 駐車場あります
申込み QRコード申込み
フォーム
および公式LINEから予約



⑤子ども食堂 コジー

開催日 第3土曜日
時間 10:00~
場所 かなの家((社)愛和福祉会)
(西条町御園字6423)
対象者 誰でも可
利用料 子ども100円/食
おとな200円/食
※要予約 駐車場あります
申込み 080-4261-9975 (木元)

⑥おひさま食堂

開催日 長期休暇(日曜日)
場所 下三永加計多目的ホール
(西条町下三永)
対象者 三永地域の住民
利用料 3歳以上100円/食
中学生以上300円/食
※要予約 駐車場あります
申込み 080-1909-6844
(ショートメール希望)

⑦平岩ふれあい食堂

開催日 夏休み・冬休み
場所 平岩地域センター
(西条町10520-12)
対象者 誰でも可
利用料 100円/食
※要予約 駐車場あります
申込み 082-422-4930 (地域センター)

⑧SATO★はちほんまつ こども食堂

開催日 第3土曜・他2回は不定期(月3回)
うち1回は交流会・食事なし
場所 下組集会所
(八本松東5丁目6-23)
対象者 誰でも可
利用料 子ども100円/食
おとな200円/食
※要予約 駐車場あります
申込み 090-4577-1832 (宮田)

⑨MM子ども食堂

開催日 最終週の土曜日
時間 11:30~
場所 有限会社ぽけっと
(八本松町正力1276-5)
対象者 誰でも可
利用料 100円/食
※要予約 駐車場要相談
申込み 地域福祉課まで

⑩あるもんで食堂

開催日 3か月/1回 第1月曜日
場所 正力集会所
(八本松町正力1441-1)
対象者 正力地域の住民
利用料 200円/食
※予約不要 駐車場あります

⑪志和地域食堂あずまや

開催日 毎月第2・第4月曜(月2回)
場所 代表者宅(志和町志和東)
対象者 誰でも可
利用料 お弁当300円/食
食堂300円~400円/食
※2日前までに電話申込み要
駐車場あります
申込み 082-433-2292 (米光)

⑫高美が丘こども塾 「竹の子」

開催日 毎週水曜日 食事:隔週
時間 16:00~19:00
場所 東広島アカデミー
(高屋高美が丘4丁目7-1)
対象者 高美が丘小学校区
条件あり(要相談)
利用料 100円/食
※要予約 駐車場は要相談
申込み 090-2008-9244 (増田)

⑬真ちゃん食堂

開催日 毎月第4金曜日
時間 11:00~13:00
場所 浄福寺
(高屋町高屋堀2366)
対象者 誰でも可
利用料 未就学児 無料
小学生100円/食
中学生以上200円/食
※前日までに電話申込み要
駐車場あります
申込み 082-434-1819 (浄福寺)

⑭子ども食堂「結」

開催日 毎月第2土曜日
(8月はお休み)
場所 杵原下集会所
(高屋町杵原下1398-5)
対象者 先着15組程度
利用料 子ども100円/食
おとな200円/食
※要予約 駐車場あります
申込み 090-7999-5414 (上田)

⑮きらきら食堂

開催日 第3金曜日(基本)
(7・8月は要確認)
時間 11:30~13:00
場所 高屋東地域センター
(高屋町白市550)
対象者 誰でも可 先着25名
利用料 子ども100円/食
おとな300円/食
※要予約 駐車場あります
申込み 090-9135-2107 (藤原)

⑯こころ食堂

開催日 年2回(5月頃・11月頃)
時間 10:30頃~13:00頃
場所 元浄寺(高屋町小谷4123-2)
または
小谷地域センター(小谷5560)
対象者 定員25名
利用料 子ども100円/食
おとな200円/食
※要予約 駐車場あります
申込み 082-434-0530 (元浄寺)
082-434-3758 (地域センター)

⑰SATO★くろせ こども食堂

開催日 月1回(不定期)
場所 代表者宅(黒瀬町大多田)
対象者 誰でも可
利用料 無料
※要予約 駐車場あります
申込み 090-9463-6778 (上満)

⑱SATO★くろせ 地域食堂

開催日 月1回(不定期)
場所 社樹福祉法人 倫
就労サポートありんこ
(黒瀬町檜原東1-11-5)
対象者 誰でも可
利用料 子ども 無料
おとな 200円
※予約不要 駐車場あります

⑲SATO★ふくとみ

開催日 月2回(不定期)
場所 久芳地域センター
(福富町久芳1545-1)
対象者 主には乳幼児と保護者
参加したい小中高大学生も
Welcome
利用料 子ども100円/食
おとな200円/食
※要予約 駐車場あります
申込み 080-7696-3591 (奈良)

⑳ふるさとカフェ キッズ

開催日 第4日曜日
時間 11:30~13:00
場所 豊栄保健福祉センター
(豊栄町乃美2841-1)
対象者 豊栄町内のこどもとその保護者
利用料 子ども100円/食(3歳以下無料)
おとな300円/食
※要予約 駐車場あります
申込み 090-4147-1460 (舩木)

㉑ハーモニー

開催日 第2・4土曜日
時間 12:00~13:00
場所 風早地域センター
(安芸津町風早1214-1)
対象者 安芸津町内の
こども及び住民
利用料 こども100円/食
おとな500円/食
※要予約 駐車場あります
申込み 0846-45-2595 (重田)

㉒風早薬局こども食堂

開催日 春・夏・冬休みの長期休暇
場所 風早薬局
(安芸津町風早1118-2)
対象者 安芸津町内の
小中学生とその家族
利用料 子ども100円/食
おとな300円/食
※要予約 駐車場あります
申込み 0846-45-5457 (風早薬局)

社会福祉法人 東広島市社会福祉協議会

□地域福祉課 (082) 430-8867 □黒瀬支所 (0823) 82-2026
□福富支所 (082) 435-2247 □豊栄支所 (082) 432-2083
□河内支所 (082) 420-7011 □安芸津支所 (0846) 45-0201

【参考資料】不登校・ひきこもりに関する現状

1 不登校児童生徒数

年 度	小学校	中学校	合 計
令和3年度	105 人	202 人	307 人
令和4年度	163 人	283 人	446 人
令和5年度	271 人	354 人	625 人

2 中学校における卒業時の進路未決定者

年 度	未決定者数	うち不登校状態だった生徒
令和4年度	9 人	8 人
令和5年度	14 人	11 人

3 高等学校における不登校の現状（推計値）

年 度	不登校の割合	東広島市（推計）
令和4年度	2.51%	119 人/4,743 人

※都道府県別不登校者数を基に、本市の高校進学数（R2～R4）から推計した値

4 ひきこもり実態把握調査（R4）

把握しているケースがひきこもり状態になったきっかけ（上位3項目、不明は除く）

区 分	1 位	2 位	3 位
民生委員 調査	人間関係 (32 人)	<u>不登校</u> (18 人)	職場に馴染めなかった (18 人)
福祉専門職 調査	疾病や性格など本人 の問題 (17 人)	家庭や家庭環境の問題 (10 人)	<u>不登校</u> (6 人)

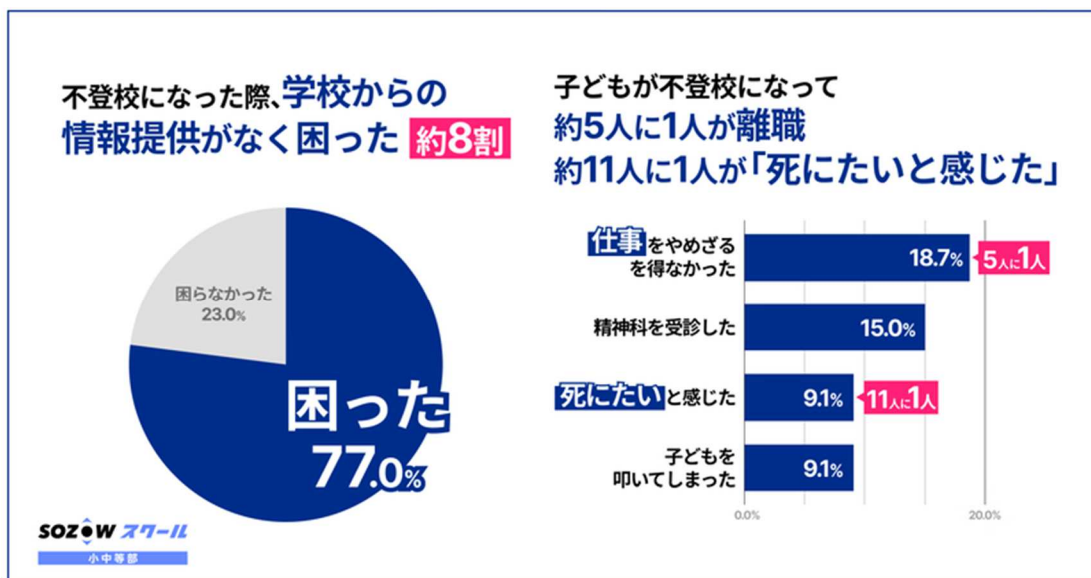
5 ひきこもり状態の初発年齢

最頻値は15歳が最多。次いで16歳、18歳だった。

※KHJ 全国ひきこもり家族会連合会による令和5年度調査（本人調査・有効回答者数134人）

6 不登校世帯と学校との関係（民間機関による調査）

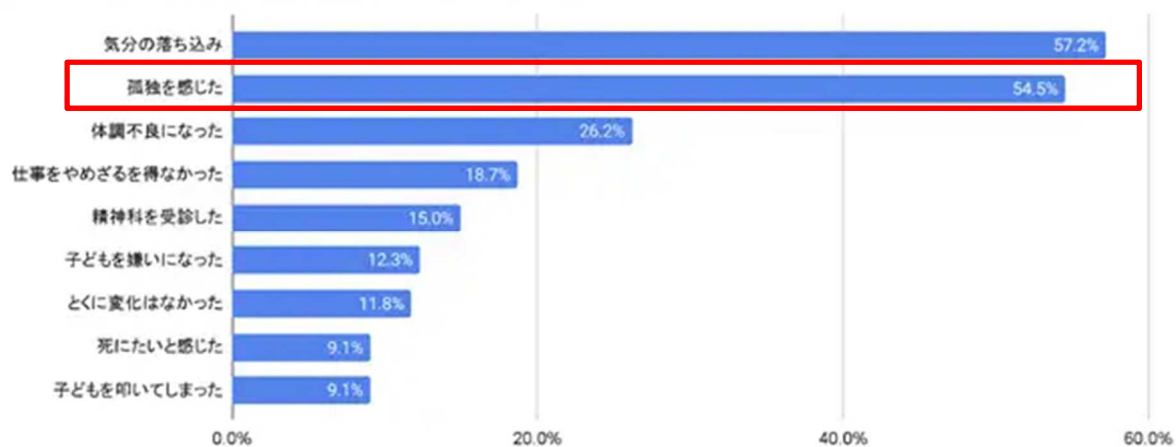
学校側が提供している情報と保護者が欲しい情報にギャップがある可能性がある。



7 不登校による保護者の変化（民間機関による調査）

50%以上の保護者が孤独を感じており、既存の支援機関が十分に機能していない可能性がある。

不登校によって保護者に起きた変化（複数回答）



SOZOWのプレスリリースより / Via prtines.jp